

戦後70年、 東アジアフォーラム —過去・現在・未来—

日時 | 8月14日(金)
13:00~18:00
終了後、キャンドルデモ

場所 | 日本教育会館
一ツ橋ホール
その他、会議室

参加費 1,000円

今年8月15日で、アジア・太平洋戦争の終結、日本の敗戦、連合国側の勝利、そして植民地解放と朝鮮半島の分断から70年の月日が流れました。戦後の日本は、日本国憲法9条に象徴される平和主義の下、戦争へ荷担することなく侵略と植民地支配のファシズムの国家から、平和国家への歩みを進めようとしてきました。しかし、米国との関係を重視する中で、東アジア諸国との信頼醸成の国家的とりくみは十分と言えず、「慰安婦」問題などに象徴される加害の責任問題は解決に至っていません。その結果、河野談話や村山談話が存在するにも関わらず、侵略と植民地支配の歴史認識という基本的課題に対して、日中、日韓など国家間においても議論が止むことはありませんでした。

敗戦から70年にあたって、日本と東アジア諸国との間に横たわっている歴史的課題を乗り越えていこうととりくんできた多くの市民、諸団体が、一堂に会して人権、教育、外交、安全保障などの問題について討議し、解決への道筋を提起します。

■開会集会 13時00分~14時30分

□基調報告 内海愛子（恵泉女子大学名誉教授）



□記念講演1 ドイツは過去とどう向き合ってきたか
ウタ・ゲルラント

（ドイツ「記憶・責任・未来」財團理事会アドバイザー）

□記念講演2 アメリカの東アジア戦略と日韓関係
ソージェジョン
徐載晶（国際基督教大学上級准教授）



■課題別シンポ 14時45分~16時30分（4つの会議室にて実施）

- ・加害者が和解を語れるのか?——被害者が望む解決をめざして（8F・第一会議室）
- ・記憶の継承と教科書（7F・707会議室）
- ・「積極的平和主義」で失うもの（7F・中会議室）
- ・オキナワ—そもそも歴史から—（8F 第二会議室）

裏面に詳細

日本軍「慰安婦」被害者の
パネル開催（3Fロビー）

■閉会集会 16時45分~18時 —市民社会がつくる平和—

イベント閉会後、戦時性暴力問題連絡協議会主催で、8.14日本軍「慰安婦」メモリアルデーキャンドルデモが行われます。

呼びかけ

李泳采（恵泉女子大学） 傑義文（子どもと教科書全国ネット21） 野平晋作（ピースボート） 藤本泰成（フォーラム平和・人権・環境）
矢野秀喜（強制連行・企業責任追及裁判全国ネットワーク） 渡辺美奈（アクティビ・ミュージアム「女たちの戦争と平和資料館」[wam]）

主催：「戦後70年、東アジアフォーラム - 過去・現在・未来 -」実行委員会

連絡先：フォーラム平和・人権・環境（平和フォーラム／担当 朴承夏）

電話：03-5289-8222 FAX：03-5289-8223 E-mail：park@gensuikin.org

記念講演者プロフィール

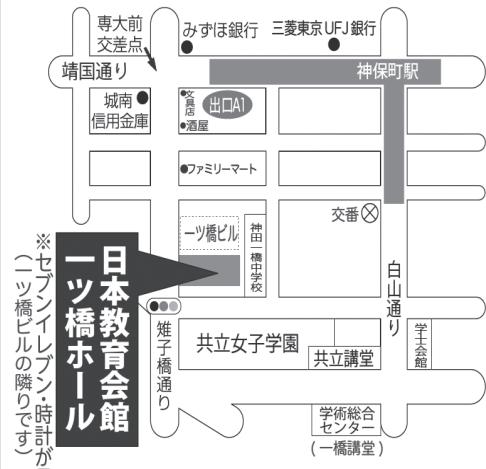
ウタ・ゲルラントさん

(ドイツ「記憶・責任・未来」財団理事
会アドバイザー)
2001年から「記憶・責任・未来」財団
でウクライナやポーランドの強制労働被
害者への支払い責任者を担い、2008年
から現職。1990年代からロシアやドイ
ツでの過去の記憶や人権問題に関わり、
同財団のほかに「ドイツ人権研究所」(パ
リ原則に基づく人権擁護機関)や「贖罪
の証・平和奉仕団」(以前は良心的兵役
拒否者を、現在は自由意志に基づく社会
奉仕等を支援するキリスト教団体)の評
議員を務めるなど、市民運動に深く関わ
る。ベルリン自由大学修士(東欧史、哲學、
政治学)、1965年生まれ。

徐載晶さん

(国際基督教大学上級准教授)
1960年生まれ。ソウル大学物理学科専
攻、ペンシルベニア大学大学院博士(政
治学)、ジョンソン・ホプキンス大学国際
大学院教授、同大学韓国学研究所所長。
2015年から国際基督教大学に赴任。米
国政府と軍産複合体の朝鮮半島での軍
事戦略を分析対象としている国際政治学
者。特に、2010年、天安艦隊の沈没事
故の原因を北朝鮮の魚雷による攻撃と
発表した韓国政府の報告書に対して、在
米学者として論理的に反駁し、国内外
にその問題の真相究明を訴えるきっかけ
を提供した実践的な知識人。

会場案内——日本教育会館



■交通機関のご案内
東京メトロ半蔵門線・都営新宿線・都営三田線
/ 神保町駅(出口A1)

課題別シンポ 14時45分～16時30分

8F

第一会議室

加害者が和解を語れるのか?—被害者が望む解決をめざして

朴裕河『帝国の「慰安婦」』批判

梁澄子(日本軍「慰安婦」問題解決全国行動共同代表)

ヨーロッパにおける和解

鵜飼 哲(一橋大学教員)

加害国ドイツの経験から

ウタ・ゲルラント(ドイツ「記憶・責任・未来」財団 理事会アドバイザー)

3F

ロビー

日本軍「慰安婦」
被害者のパネル展
開催

8F

第二会議室

オキナワ—そもそも歴史から—

新垣 毅(琉球新報編集委員)

洪基龍(済州軍事基地阻止と平和の島を実現す
るための汎道民対策委員会執行委員長)

7F

707会議室

記憶の継承と教科書

歴史をわい曲する教科書と2015年中学校教科書採択

俵 義文(子どもと教科書全国ネット21事務局長)

安倍政権・文科省の更なる教科書検定制度改悪のねらい

吉田典裕(出版労連教科書対策部)

韓国における歴史わい曲教科書の問題

金敏詰(民族問題研究所責任研究員、太平洋戦
争被害者補償推進協議会執行委員長)

「記憶を継承する日中韓3国の共同歴史教材作製の取り組み」

DVD上映
報道特集
教科書採択
誰が決める?

コーディネーター 齋藤一晴(明治大学非常勤講師、日中韓共同歴史編纂委員会)

7F

中会議室

「積極的平和主義」で失うもの

谷山博史(日本国際ボランティアセンター)

朴正恩(参与連帯協働事務所長)

高田 健(WORLD PEACE NOW 実行委員会)

コーディネーター 藤本泰成(フォーラム平和・人権・環境)